

低学年：基本的な学習習慣を身につける

> 1. 2年生では…

学習時間の目安 20～30分間（学年×10＋10分間）

「早寝・早起き」「規則正しい食事」「朝の排便」など基本的な生活習慣を身につけることが学習習慣の定着に欠かせません。学校での学習を受け、保護者と一緒に家庭での学習内容や方法を決め、できたことをほめることによって興味・関心を引き出し、今後の学習への意欲を高めることができます。

低学年の学習の特徴

45分を1単位時間とした授業の中で、「読み・書き・計算」などの基礎的・基本的な内容を学習します。その中には、繰り返し練習することで力がつく学習内容がたくさんあります。「正しい姿勢で座る」「鉛筆を正しく持つ」「明日の授業の準備をする」「身の回りの整理整頓をする」ことが、学習の基本になります。体験的な学習が多く、身近な物を使ったり、実際に体を動かしたりする学習を中心に生活と結びついています。

家庭へのお願い

- 学校からの連絡やお便り、明日の授業などを子供と一緒に確かめることが大切です。
- 学習時間を決めて、家庭学習をするときは近くにいてあげましょう。
- まずは、毎日宿題を最後までやらせることを続けましょう。
- 一緒に買い物をしたり、時計を読んだりしながら、子供の生活経験を増やしましょう。

全学年を通して…

※ICT 端末を活用した自主学習にも進んで取り組みましょう。
オンラインドリル「e-board」「e ライブラリ」「デジタマ」
タイピングツール「プレイグラムタイピング」
動画教材「ネットモラルクラウド」「NHK ONE」

中学年：自主的な学習習慣を身につける

> 3・4年生では…

学習時間の目安は 40～50分間（学年×10+10分間）

自立心が芽生えてくるとともに、自分でやろうとすることが多くなり、「やる気」や「根気」が育つ時期です。語彙(言葉)の獲得能力が高くなり、抽象的な思考ができるようになっていわれています。

「急に勉強が難しくなった」という戸惑いや、苦手意識をもつ子供が出てくる時期でもあります。自信をもたせたり、意欲をふくらませたりするような家庭での励ましが大切です。

中学年の学習の特徴

- 総合的な学習の時間や社会、理科の学習が始まり、学習する内容も大きく広がります。
- 国語辞典や漢字辞典、地図帳、インターネットなどの使い方を学び、自分で調べる学習をすることが多くなり、自学自習の基礎を学びます。
- 算数では、四則演算の基礎・基本を徹底して学ぶとともに、分数や小数など少しずつ抽象的な内容も学ぶようになります。

家庭へのお願い

- 家庭のあたたかい助言や励ましの言葉でやる気を起こしたり、宿題や持ち物を点検したりするなどの手助けが必要です。徐々に自分でできるように支援していきましょう。
- 自分から机に向かう姿勢を育て、集中して取り組む習慣をつけさせることが重要です。
- 学習をする前に、学習する場所の整理整頓を行い、自分で今日の宿題を確認させ、必ず最後までやらせましょう。学校からのお便りなどを親に手渡す習慣をつけましょう。
- 社会や理科で学習する地域社会の文化や産業、自然などに触れる体験をさせましょう。

全学年を通して…

- ※ICT 端末を活用した自主学習にも進んで取り組みましょう。
オンラインドリル「e-board」「e ライブラリ」「デジタマ」
タイピングツール「プレイグラムタイピング」
動画教材「ネットモラルクラウド」「NHK ONE」

高学年：自主学習の習慣を身につける

> 5, 6年生では…

学習時間の目安は 60～70分間（学年×10＋10分間）

生活リズムの乱れは、学習習慣にも影響を及ぼします。もう一度生活習慣を見直し、計画的に学習を進めることが重要です。

学習に対する意欲や興味・関心を高めるために、保護者や教師の言葉かけが大切になります。目標を決めて努力できるように、温かく見守りながら励ましましょう。

高学年の学習の特徴

- 学習内容が多くなり、論理的な内容や抽象的な思考を伴う学習が増えます。
- 筋道を立てて考える力や、広い視野で物事を見る力が必要になります。
- 家庭科の学習が始まり、衣食住の基礎・基本を学びます。
- 自ら学ぶことのおもしろさや楽しさを経験することで、ものの見方や考え方を身につける学習になってきます。

家庭へのお願い

- 「やればできる」という気持ちをもたせ、子供の自己肯定感を育てるように、ほめたり励ましたりすることが大切です。
- 家族の一員として、手伝いや役割を決め、家庭科などで学習した内容を生活の中で実践したり、生かしたりすることができるようにならせます。
- 学習をする前に、学習する場所の整理整頓を行い、自分で今日の宿題を確認させ、必ず最後までやらせましょう。学校からのお便りなどを親に手渡す習慣をつけましょう。
- わからないところは、ノートや教科書を見返して調べたり、先生に聞いたりするように声をかけ、粘り強く取り組ませるようにしましょう。

全学年を通して…

- ※ICT 端末を活用した自主学習にも進んで取り組みましょう。
 - オンラインドリル「e-board」「e ライブラリ」「デジタマ」
 - タイピングツール「プレイグラムタイピング」
 - 動画教材「ネットモラルクラウド」「NHK ONE」